

報告事項 No.4

会 議 録

会 議 の 名 称	令和8年度第1回守谷市保健福祉審議会障がい者福祉分科会
開 催 日 時	令和8年5月26日（火） 開会：10時 閉会：11時10分
開 催 場 所	守谷市役所 議会棟1階 大会議室
所管課	健幸福祉部 健幸長寿課
出席者	委員 小田会長、樋口委員、新田委員、横山委員、綿引委員 計5名 事務局 横山副参事、椎名課長補佐、石福係長、千葉係長、寺田係長 計画策定支援業務委託事業者1名 計6名

審 議 経 過

○協議事項

守谷市障がい者福祉計画（第4期）・守谷市障がい福祉計画（第8期）・守谷市障がい児福祉計画（第4期）策定のためのアンケートの実施及びその設問項目について

・事務局から計画策定の主旨、国の基本指針及びアンケート内容等について説明した。

【主な意見等】

（委員）質問ごとの区切りが分かりにくいので、次の設問との段落を空けるなど、視認性を高めるとよいと思う。

（委員）一部質問の選択肢について、単一回答では答えにくいため、複数回答が望ましいと思う。

（事務局）委員からの意見を踏まえ、答えやすいように修正する。

（委員）回答量が多く、負担感がある。また、本人が直接回答することが難しい場合は家族が本人の意思を尊重して答えることになるが、本人には困り感がなく、支援者に負担がある場合の回答が難しい。本人と支援者のどちらの意見も集計できる形だと答えやすいと思う。

（委員）ニーズを探るといふことやいろいろな方々の状況に合った制度を作るといふことで回答量が多くなるのは致し方ないと思う。

（事務局）基本的な質問項目を変えるのは難しいが、支援者の意見を反映できるような設問の構成や問い掛け方に見直し、修正する。

（委員）アンケート回答の回収率を上げるための方法や手段はあるか。

（事務局）紙媒体のほか、ウェブ回答も対応する。視覚障がいがある方には、希望者に拡大版の用紙送付や電話回答の対応も行う。また、市内障がい福祉サービス事業所等にアンケート周知の協力依頼をさせていただきたいと考えている。

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 8 年度第 2 回守谷市保健福祉審議会障がい者福祉分科会
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 8 日（水） 開会： 9 時 3 0 分 閉会： 1 0 時 5 7 分
開 催 場 所	守谷市役所 議会棟 1 階 ミーティングルーム 1 ・ 2
所管課	健幸福祉部 健幸長寿課
出席者	委 員 小田会長、樋口委員、横山委員 計 3 名
	事 務 局 横山副参事、椎名課長補佐、石福係長、寺田係長、千葉係長 計 5 名

審 議 経 過

○協議事項

令和 7 年度守谷市障がい者福祉計画（第 4 期）進捗状況について

・障がい者福祉計画（第 4 期）で設定した施策への取組について、市担当課の取組状況の報告を行った。

【主な意見等】

（委員）グループホームの整備における評価について、実際に居室が空いている施設もあるが、事業所の開所数をもって評価しているのか。また、福祉的関わりや質の評価がしにくいと思われるがどのように考えているか。

（事務局）当該項目は開設数をもって評価している。質の評価については、3 年ごとに行っている実地指導において確認するとともに、事業所とコミュニケーションを図りながら、運営について必要な指導を行う。

○報告事項

令和 7 年度守谷市障がい福祉計画（第 7 期）・守谷市障がい児福祉計画（第 3 期）進捗状況報告について

・両計画で示している障がい者手帳所持者や各障がい福祉サービス等の統計データについて、令和 7 年度の実績数値の報告を行った。

【主な意見等】

（委員）障がい支援区分の認定者数について、令和 8 年度当初における区分 5 の人数が前年度よりも大きく増加しているが、これは状態が重くなった方が増えたのか、新規で認定された方が多かったのか。

（事務局）更新の認定者は前回と同じ区分だった方がほとんどであったので、新規で重い区分に認定された方が多かったと思われる。

（委員）宿泊型自立訓練の利用実績が少ないことについては、サービス知名度の低さや標準利用期間が原則 2 年間であること、自立訓練プログラムをこなすことが大変などの理由から、生活の場としてはグループホームが選ばれやすいのだと思う。